

令和5年度の重点課題

○全国平均値（令和4年度）を上回る種目が、10/16＝62.5％と前年度よりは上昇しているが、依然として低い。
○女子児童の、「握力」「上体起こし」「反復横跳び」「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」が、全国平均値より低い。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○体育授業の改善
・コロナ明けの体力低下の実態を分析し、運動の楽しさや特性に触れるような体育の授業を考え実践する。
・準備運動の際に、主運動に繋がる運動遊びを取り入れ、運動の充実を図る。
○平均値の提示
・新体力テストの結果から、課題の見られる種目の前項平均値を提示し、授業に目標を持って取り組ませる。
○運動に慣れさせる
・新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことを受け、学年による外遊びの分散を止め、外遊びを推奨する。
・長期休業での家庭学習に体力づくりを取り入れ、継続的に体を動かすことに慣れさせた。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値（令和5年度）・全国平均値（令和4年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.61	20.71	36.18	38.74	40.55	8.97	141.35	21.42	53.55	第5学年	16.78	19.89	42.53	38.71	31.34	9.10	138.46	11.83	56.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値（令和6年度）・全国平均値（令和6年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.61	20.71	36.18	38.74	40.55	8.97	141.35	21.42	53.55	第5学年	16.78	19.89	42.53	38.71	31.34	9.10	138.46	11.83	56.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	56.25	43.75	0.00	0.00	第5学年	37.84	62.16	0.00	0.00

学校独自の意識調査

肯定的評価の回答の割合（％）	低学年	高学年
1.運動やスポーツが好きですか。	95	91
2.自主的に運動をしたいと思いますか。	91.5	89.4
3.好きなスポーツや体育の運動は何ですか。		
ボール運動	37.3（1位）	40.1（1位）
走る運動	21.2（3位）	13.9（3位）
遊具を使う運動	5.5（6位）	3.2（6位）

重点課題

情意面での課題

- ・運動やスポーツをすることが好きと答える5年児童の割合が男子56.25％、女子37.84％で、好きと答える女子の割合が男子よりも18.41％少ない。
- ・第5学年も含めて、運動に対する肯定的評価は高いが、校内アンケートで運動の種類に偏りがあることが分かった。低学年、高学年ともにボール運動の人気の高い。反対に、鉄棒等の遊具を使う運動の人気の低いことが分かった。

体力面での課題

- ・全国平均値（令和5年度）を上回る種目が、9/16＝56.2％と前年度より1種目減っている。特に、男子が5種目となっており、男子の対策が急務である。
- ・女子は、「握力」「上体起こし」「50m走」が昨年度と比較して改善したが、「20mシャトルラン」は今年新たに全国平均値を下回った。
- ・体力合計点は県平均値を上回ったが、全国平均値を男女とも下回った。（12月）

令和7年度の
重点目標値

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 体育授業の改善
・「毎月のストレッチ運動と筋力トレーニング運動」として、筋力アップと柔軟性の向上に特化した運動を一種目ずつ紹介し、準備運動の際に継続的に行うことで、柔軟性や筋力の向上を図る。
・「長座体前屈」の平均値の向上に一定の成果が見られた。毎月のストレッチや筋力トレーニングは今後も続けながら、体力テストの各種目の対策を関連付けたものを取り入れていくようにする。（12月）
・跳躍力等を伸ばす効果的な方法など、体育の指導法について体力推進リーダーを中心に研修を実施し、指導力の向上を図る。
・ACP（アクティブチャイルドプログラム）で学んだ指導法をもとに、楽しみながら運動量の確保を意識した授業を実施する。（12月）
- 重点取り組み課題の提示
・児童に対して、立ち幅跳びの結果と平均値を提示し、自分の記録をよりよくしようという態度を引き出す。

体育の授業以外で行う取組内容

- 体育委員会による実践
・ストレッチ運動や筋力トレーニングを実際に体育委員に実践させ、動画で分かりやすく示し、指導法を統一する。また、「鬼遊び」などのクラス遊びを紹介し、学級遊びの推進を図る。
- 家庭での運動習慣
・毎月紹介するストレッチ運動と筋力トレーニング運動はスライドとして整理し、Google classroomを用いて児童に共有することで、各家庭でも体力アップに努めることができるようにする。また、長期休業の際には家庭学習として取り入れる。
- 研修の充実
・体力推進リーダーを中心に、効果的な体力づくりについての研修を行った。12月には県教委と連携し、ACP（アクティブチャイルドプログラム）の講師を招いて、遊びながら楽しめる体づくり運動についての研修を行った。（12月）
- その他
・「ボール投げ」の課題改善のため、正しいフォームで練習ができるバトンスローの場を設定し、体育の時間や休憩時間も活用できるようにする。（12月）

- 新体力テストの県平均かつ全国平均値を上回る種目を75％以上にする。（12/16種目）
- 「運動やスポーツをすることが好き」と答える児童の割合を、男女とも50％以上とする。
- 「ボール投げ」を県平均値かつ全国平均値以上にする。